



川崎エコリノベーション・ワークショップ @みどり町会サロンを開催しました！

川崎市は2日間に渡ってエコリノベーション・ワークショップ（座学編、実践編）を開催しました。座学編ではエコリノベーションのメリットや仕組みについて学び、実践編では参加者が実際にDIYに取り組みました。

参加者のみなさんの声

- ・住宅の計画は間取りばかり気にしていましたが、性能の方も大事だということがよくわかりました。
- ・DIYでも住環境を変えることができると体験・経験することができました。
- ・大変充実したワークショップの内容でした。
- ・また戸建て住宅で開催して欲しいです。 など



上写真：座学編の様子



右写真：実践編参加者のみなさん

川崎市すまい・いかすプロジェクト×川崎市すまい・いかすサポーター

- 川崎市では、子育て世帯へのゆとりある住まいの提供、住まいを活かした豊かな高齢期の実現を目指し、既存戸建住宅をはじめとした住宅ストックの活用・世代間循環の促進に取り組む「川崎市すまい・いかすプロジェクト」を展開しています。
- また、住宅ストックの活用・世代間循環の促進等に取り組む住宅・まちづくり関連の法人・団体等を「川崎市すまい・いかすサポーター」として位置づけ、市との連携を強化し、取組を促進しています。



「川崎市すまい・いかすプロジェクト」「川崎市すまい・いかすサポーター」のホームページのリンク



この冊子についてのお問合せ先

川崎市 まちづくり局住宅政策部住宅整備推進課
〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地
電話：044-200-2995 ファクス：044-200-3970
メールアドレス：50zyusei@city.kawasaki.jp

川崎エコリノベーションワークショップのホームページリンク



やってみよう！

DIY de

エコリノベーション



エコリノベーションってなに？

エコリノベーションとは、住宅を断熱改修することで夏は涼しく、冬は暖かい家にする事です。

このパンフレットでは、DIYでエコリノベーションする方法を紹介しています。

※DIY（ディー・アイ・ワイ）とは、素人（専門業者でない人）が、何かを自分で作ったり修繕したりすること。英語のDo It Yourself（ドゥ イット ユアセルフ）の略語で「自身でやる」の意。

住まいを断熱化したらどんな良いことがあるの？

- 居住者の健康につながります！
 - ・ヒートショック対策
 - ・手足の冷えやアトピーの改善などが期待できる。など
- 省エネ&光熱費の削減につながります！
- 住宅の快適性が高まることで活動的になれます！

ここでは、令和2年2月に開催した「みどり町会サロン」(川崎市麻生区)でのワークショップを事例に、DIYでのエコリノベーション手法についてご紹介します。

やってみよう!

DIY de

エコリノベーション

断熱メニュー① ～ 窓断熱 de 快適空間

冷暖房時に建物の外へ逃げる熱のうち、窓から逃げる熱は全体の4.5割を占めています。窓を断熱して快適な部屋にしましょう。

【作業工程】

① 窓枠のサイズを測る

- ・ツインカーボをはめ込むための窓枠のサイズを測ります。
- ・古い家は、経年の重みで鴨居が下がっている恐れがあるので、中央の高さも測ります。
- ・ツインカーボは、鴨居に張り付けるモール(プラスチック製のレール)の厚みも差し引いた大きさにカットします。(写真a)



② ツインカーボをカットする

- ・測った窓枠に合わせてツインカーボをカットします。ツインカーボは固いですが、定規を当ててカッターで繰り返し切り込むことで切断することができます。(写真b)



③ モールを取り付ける

- ・鴨居と敷居にモールをビス留めします。
- ・モールはビス止める位置へ事前に穴を空け、留めやすくしておきます。(写真c)
- ・なお、窓ガラスとツインカーボとの間が空きすぎると、結露が生じやすくなるので注意しましょう。



④ 窓(ツインカーボ)をはめ込む

- ・最後に、ツインカーボをモールにはめ、取っ手を付けて出来上がりです。サイズが合わずモールにはまらない場合は、カンナ等でツインカーボの上部を削って調整します。
- ・柱には隙間テープを貼って、ツインカーボと柱の間の隙間を塞ぎます。(写真d)



断熱メニュー② ～ 畳断熱 de 底冷え対策

手足の冷えは万病のもとです。畳を断熱して快適な和室にしましょう。

【作業工程】

① 畳をめくる

- ・千枚通しなどを使って畳をめくり、板の間にします。(写真e)
- ・なお、畳は1枚1枚形が異なるので、めくる前に畳の位置と向きをメモしておきます。



② 透湿防水シートを敷く

- ・透湿防水シートには外側面と内側面があり、外側面を板に向け、隙間なく張ります。
- ・壁ぎわは、壁の立ち上げに添わせて透湿防水シートも立ち上げます。(写真f,g)
- ・透湿防水シートはタッカーで板に留めた後、気密テープで目止めします。(写真h)



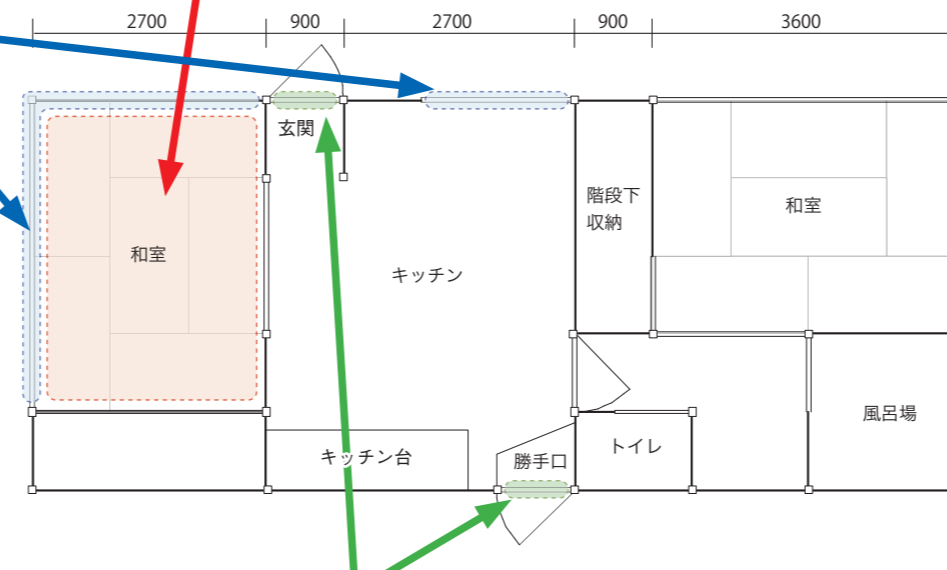
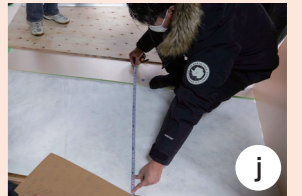
③ スタイロフォームを敷く

- ・透湿防水シートの上にスタイロフォームを並べます。(写真i)
- ・スタイロフォームは必要なサイズにカットして調整します。(写真j)



④ 畳を戻す

- ・スタイロフォームを敷き終わったら、畳を元の位置に戻します。
- ・それぞれの畳の位置、方向を間違えとはまらなくなってしまうので注意しましょう。



■使用した材料一覧

ここで紹介する材料は、全てホームセンターやネットショップで購入可能です。

① 窓断熱

- ・ツインカーボ(中空二重層のポリカーボネート板、4mmx910mmx1820mm)
- ・モール(ガラス戸などのプラスチック製のレール、長さ1.820mm)

② 畳断熱

- ・透湿防水シート(水分の侵入を防ぎ、湿気を逃すシート)
- ・スタイロフォーム(発砲スチロール製の断熱材、厚さ4mm)
- ・気密テープ

③ 扉の隙間ふさぎ

- ・角材(15mm x 15mm)
- ・モヘヤテープ
- ・すき間テープ

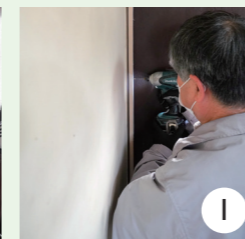
断熱メニュー③ ～ 扉の隙間ふさぎ de 隙間風シャットアウト

開き戸の扉周りの隙間を塞ぐことで外気の侵入を防ぎ、気密性を高めます。

【作業工程】

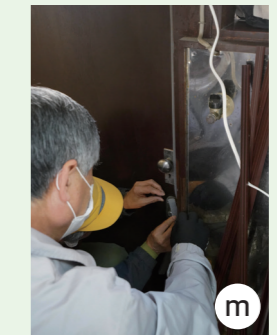
① 蝶番側の隙間を塞ぐ

- ・扉の蝶番側からの外気の侵入を防ぐため、モヘヤを張り付けた角材を、蝶番の隙間を塞ぐようにビス止めします。(写真k,l)



② ドアノブ側の隙間をふさぐ

- ・開き戸のドアノブ側には、すき間テープが張られていることが多いですが、経年劣化で固くなっていることが多いので、気密テープを新しいものに交換します。(写真m)



DIYにあると便利な道具たち



■インパクトドライバー
穴あけやビス止めをする際に使用します。1台あると、様々な場面で利用できて便利です。



■タッカー
大型のホッチキスです。透湿シートを床板に張り付ける際に使用します。



■さしがね(直角定規)
直角を出す際に用いる定規です。



■その他
・のこぎり
・大型のカッター
・長尺の金属定規
・コンベックス(金属製の巻き尺)など

作業にあたって



■滑りにくい薄手の手袋をつけて作業しましょう
工具を使用する際の巻き込まれ防止のため、軍手ではなく薄手の作業手袋を使用しましょう。



■室内を傷付けないように気を付けましょう
壁や床などを傷つけないように養生して行いましょう。屋外に作業スペースを確保できるなら、外で行うのも良いでしょう。



エコリノベーション会場「みどり町会サロン」について

川崎市麻生区の王禅寺みどり町会が、空き家対策として町内の空き家の一部分を借り上げ、会合やレクリエーションの場として活用している建物です。

